

つくばサイエンスツアー感想

①コース：国際農林水産業研究センター→地図と測量の科学館→防災科学技術研究所

防災センターでの地震体験は、見ているだけで地震の恐ろしさが伝わってきた。地震の多い日本でどう暮らしていくべきかを改めて考えることができた。

自分が今まであまり関わったことのない分野について知ることができた。特に国内に目を向けるのではなく世界に目を向けることでその課題の根本を解決しようとしていて凄いと思った。

専門知識はあまり知らなかったけれど自分の身の回りに転がっている問題を改めて知ることができた。

今までは研究の面白さが分からなくて将来研究職につくことはないと思っていたけど、今回話を聞いて、研究職の面白さを知り、将来の選択肢に活かせそうだったと思った。知らなかったことをたくさん知れて面白かった。

地理についての知識や実際の研究を知ることができた。このように大きな研究所に入れる機会は中々ないと思うので、貴重な経験になったと思う。今後のss-lectureにも積極的に参加したい。

国際農林水産業研究センターでは、研究職や留学の説明が役に立った。地図と測量の科学館は、歴史をもっとやってたら面白いんだろうなと思って歴史をもっと勉強しようと思えた。防災科学技術研究所は機械についての説明がわかりやすかった。

今まで農業や地図、防災などの専門分野についてあまり知識はありませんでしたが、今日の見学で研究者さん達の、説得力と具体性のある生の声が聞けてとてもためになりました。興味深い内容ばかりだったので、1日とても楽しむことができました。いい経験になったと思います。

文系だからと遠ざけていた分野にふれ、得意苦手関係なくとても興味を持ちました。特に、国際農研では、小さい頃から少し興味があった土壌開発についての研究、適地適作の作物の研究についてを知ることができ、進路の視野が広がりました。

私は創薬研究に興味があるので、研究という分野についてお話を伺うことができ、自分の将来の参考になった。

普段聞くことのできない、さまざまな人たちから貴重な話を聞くことができ、良かったです。

特にはじめの国際農林水産業研究センターではさまざまな国の農業の研究がSDGsにもつながることを知り、驚きました。

友達が誘ってくれて参加することにしたが、海外のことなど、自分が興味のあることばかりを知れてとても良い経験になった。

研究職について今まで調べたことがなかったので研究職についてよく知ることができて進路の考えが広まった

普段関わりのない研究職の方がどのようなことをしているか、どんなことを心掛けているか等の知らなかったことを知ることができた。研究のための施設や道具は考えられ作られているため、自然に近い環境で実験できるようになっていた。研究職にもっと興味を持つことができた。

とても充実した1日になりました。自分の興味がなかった分野についても触れられたのでいい機会になりました。

地図と測量の科学館は展示物が多く内容も興味深かったので楽しめました。

普段見られない設備を見ることができたり、聞けない話を聞くことができてとても良い経験ができたと思う。あまり知らない世界だったので少し興味が湧いた。

農林水産業や防災科学の研究内容や研究者の活躍や世界との関わりを知ることができて、将来の進路の参考になったと感じました。まだ理解できていないことや興味を持った部分をこれから調べていきたいと思いました。

国際農研のことは今まで知らなかったが、発展途上国の農業革新に尽力しているところだということが理解できた。科学的探究で、砂漠の土壌でも作物を作れることをテーマにしたいと思っていたので、とても勉強になった。海外での研究の様子や生活などの貴重なお話も聞くことができて良かった。研究職にも興味はあまりなかったけど、自分の好きなことを追求できたり、三十代でも若手の枠だったして魅力があると思うようになった。自分にとってプラスになることをたくさん学ぶことができた一日だった。

普段見ることができないような機械や実験、様々な分野の細かい貴重な話を聞くことができて、良い経験になりました。環境のことから防災のこと別のことだと思っていたけれど、それぞれにつながりがあるところに興味を感じました。

防災科学技術研究所では実際に施設を見て、規模の大きさに驚きました。細かいところまで工夫して、正確なデータを作り出しているということが分かりました。地図と測量の科学館では、色々な体験を通じて地図や測量の歴史を学ぶことができて良かったです。国際農林水産業研究センターでは、日本での研究が世界に貢献されていることを知ってより興味を持ちました。

今回のサイエンスツアーでは、実際の研究者の様子を間近で見られるだけでなく、研究者になるためにどのような手順を踏む必要があるのかも知ることができ、将来の進路選択に役立てられそうだと感じました。国際農業研究センターでは、農業に新しい技術が積極的に取り入れられていることを学び、農業の未来について考えるきっかけになりました。地図と測量の科学館では、地図の制作を巡って多くの人々の知恵が結集されていることがわかり、日常に欠かせない地図の裏側に興味を持ちました。また、防災科学技術研究所では、防災や減災のためにデータを収集して分析するだけでなく、自然災害を擬似的に再現できる装置を使うことで、より現実に即した対策が可能であることを知り、防災研究の重要性和面白さを実感しました。

今まで知らなかった機関に行ってみて新しい視点が広がりました。実際に見たり、研究者から話を聞いたりして研究内容や研究職のことをより深く知ることができて興味が湧きました。研究機関や研究者などは自分たちの知らないところで日本や世界をより良くするために日々、実験などを行っていると感じました。